

2023 年 6 月 28 日

九州実務補習所
2022 年 期 生 各 位

一般財団法人会計教育研修機構
九州実務補習所運営委員会

第 5 回ディスカッションテーマについて

2023 年 7 月 5 日(水)開催

2023 年 7 月 5 日（水）に開催する「第 5 回ディスカッション」のテーマが、下記のように決定いたしました。

記載のテーマを読み、各自の考えをまとめてくるようにしてください。
なお、関連資料は各自で集めてくるようにしてください。

テーマ 1（フリーディスカッション）

監査業務においては、2021 年 5 月に可決した「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」により、公認会計士法が改正され 2021 年 9 月 1 日より、公認会計士及び監査法人による監査証明を、従前までの書面に代えて電磁的方法で行うことが可能となりました。

また、税務業務において、「情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律」が 2004 年に施行され、監査業務に先んじて、2004 年 6 月 1 日から e-tax による電子申告が可能になっています。

それらに限らず、民間においても「電子計算機を使用して作成する国税関係帳簿書類の保存方法等の特例に関する法律」（電子帳簿保存法）の改正等により様々な電子化（ペーパーレス化）が進んでいます。

これらの前提を考慮し、下記について議論をしてください。

- ① あなたが所属する組織で行われているペーパーレス化の事例を踏まえ、ペーパーレス化のメリットとデメリットについて、自身の意見を述べてください。
- ② 今後、社会全体でペーパーレス化を推進するべきか否かについて、ペーパーレス化を進めるべき分野・領域と、進めるべきでない分野・領域と併せて、自身の意見を述べてください。

テーマ 2（グループ討論）

2023 年 3 月、アメリカの金融当局から、シリコンバレーバンクの経営破綻が発表されました。日本国内においてもバブル景気の終焉以降、北海道拓殖銀行や山一証券等の大手銀行・証券会社が相次いで破綻しました。

また、銀行・証券会社に限らず、企業の経営破綻は取引先への債権貸倒による連鎖倒産、従業員の失業等、大きな影響があります。

このような経営破綻・倒産に対して、公認会計士として貢献できることの有無について、以下の A、B の立場から議論してください。

A：公認会計士に貢献できることはある

B：公認会計士に貢献できることはない

テーマ 3（グループ討論）

1 班

2023 年 5 月 18 日に労働組合の全国中央組織「連合」にて現在の国民年金の第 3 号被保険者制度の廃止が提起されたが、昨今のライフスタイルや働き方の変化を受け、現在の国民年金の第 3 号被保険者制度は廃止すべきか？

A 案：賛成

B 案：反対

2 班

令和 4 年から金融教育が義務化されたが、金融教育は必要と考えるか。

A 案：必要である

B 案：必要でない

※ レポーターは、論点整理をしたレジюмеを A4 用紙 1 枚程度で作成し、Word ファイルにて 7 月 3 日（月）までに事務局へ 1 部提出すること。（FAX でもメールでも構いません）

さらに、ディスカッション当日に班人数分＋担任分（最大 22 部）を用意してくること。

（事務局のコピー機を使用する場合は、原稿を 1 枚持参のうえ、時間に余裕をもって来ること。）

【レジюме提出先】

九州実務補習所 事務局

F A X : 0 9 2 - 7 1 5 - 3 6 6 4

M a i l : hokubuk-hosyu@sec.jicpa.or.jp

※ レジюмеには、補習生番号、氏名、班、テーマ（2 か 3 か）、派（A 案派か B 案派か）を必ず記載すること。

注 意：レポーターでディスカッション当日に出席出来ない事がわかっている場合、必ず出席する補習生と交代するとともに、その旨を事務局に連絡すること。

尚、レポーターが無断欠席した場合、既に取得した実務学習単位から 3 単位を減ずる場合があるので注意すること。